

2024年度

環境経営レポート

(2023年12月1日～2024年11月30日)



令和 7年 2月 5 日

神奈川県秦野市戸川115番地

株式会社 セクメット

代表取締役社長 瀬戸 誠

目 次	頁
1. 事業の概要	3
2. 対象範囲	7
3. 環境経営方針	8
4. 環境経営目標	9
5. 環境経営計画、環境経営目標の実績、取組結果とその評価及び 次年度の取組内容	10
5. 1 運用結果と評価	10
5. 2 処理実績	11
5. 3 主要な環境経営計画の内容	12
5. 4 次年度の取組内容	13
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	13
6. 1 環境関連法規等の遵守状況	13
6. 2 違反、訴訟等の有無	13
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	14

1. 事業の概要

1) 事業所名及び代表者名

- ・株式会社 セクメット
- ・代表取締役 瀬戸 誠
- ・法人設立年月日 平成2年12月1日

2) 所在地

- ・本社 秦野市戸川115番地
- ・鉄スクラップセンター 秦野市戸川6-8
- ・第5工場 秦野市戸川6-11
- ・秦野自動車解体 秦野市堀川134-3
- ・eタイヤ秦野店 秦野市堀山下183番地1
- ・eアカデミー韓国語教室 厚木市中町3丁目9-10 武井ビル中町403

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

- ・責任者 常務取締役 瀬戸 勝
- ・担当者 総務部 諸橋 啓士
- ・連絡先 電話 0463-74-1155 FAX 0463-74-1153

4) 事業活動の内容

- ・本社 総務、業務、営業
- ・第5工場 産業廃棄物収集運搬業・中間処理(圧縮)業、一般廃棄物収集運搬業
- ・鉄スクラップセンター 鉄スクラップ再生業(金属くずの再生)
- ・秦野自動車解体 廃自動車の再活用・解体再生業
- ・eタイヤ秦野店 タイヤの販売
- ・eアカデミー韓国語教室 韓国語教室(塾)

5) 事業の規模

- ・資本金 1000万円
- ・事業規模は表1に示すとおりです。

表1 事業規模

活動規模	単位	2015年度 2014.12～ 2015.11	2016年度 2015.12～ 2016.11	2017年度 2016.12～ 2017.11	2018年度 2017.12～ 2018.11	2019年度 2018.12～ 2019.11	2020年度 2019.12～ 2020.11
売上高	百万円	B	B	B	B	B	B
従業員	人	30	30	30	30	29	30
床面積	m ²	3,000	3,000	3,000	3,129	3,488	3,488
敷地面積	m ²	12,483	12,483	12,483	12,724	12,724	12,724

活動規模	単位	2021年度 2020.12～ 2021.11	2022年度 2021.12～ 2022.11	2023年度 2022.12～ 2023.11	2024年度 2023.12～ 2024.11
売上高	百万円	A	A	B	B
従業員	人	30	30	30	30
床面積	m ²	3,488	3,488	3,488	3,488
敷地面積	m ²	12,724	12,724	12,724	12,724

* 売上高区分A
(10億以上)

* 売上高区分B
(5億円以上10億円未満)

6) 受託産業廃棄物量及び受託一般廃棄物量

受託産業廃棄物及び受託一般廃棄物の量を表2に示す。

表2 受託産業廃棄物量及び受託一般廃棄物量

項 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
産業廃棄物収集運搬量(t)	1286.5	1829.1	1998.2	2402.5	1408.0	2808.2
産業廃棄物受入量(t)	3233.6	4086.6	3974.9	4224.0	3330.3	3,354.9
産業廃棄物処分量(t)	2032.6	2757.8	2547.9	2624.9	2137.9	2315.1
産業廃棄物リサイクル量(t)	1200.8	1328.8	1427.0	1599.1	1192.4	1097.1
一般廃棄物収集運搬量(t)	2293.5	1490.7	1848.2	1868.8	1422.0	1365.5
一般廃棄物再資源化量(t)	559.0	525.2	358.0	380.3	321.1	458.3

7) 廃棄物処理料金 個別見積によります。

8) 産業廃棄物許可内容一覧表

産業廃棄物許可内容を「表3-1 産業廃棄物処分業許可証」、「表3-2 産業廃棄物収集運搬業許可証」、「表3-3 一般廃棄物収集運搬業許可証」、「表3-4 一般廃棄物処理業許可証」に示すとおりです。

産業廃棄物許可内容一覧表

表3-1 産業廃棄物処分業許可証

許可自治体	許認可番号	許認可年月日	有効年月日	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	コンクリートくず	陶磁器くず	がれき類
神奈川県	第01423038339	平成28年9月16日	令和8年8月22日						○	○	○	○		○	○	○	○	○	

表3-2 産業廃棄物収集運搬業許可証

許可自治体	許認可番号	許認可年月日	有効年月日	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	コンクリートくず	陶磁器くず	がれき類
神奈川県	第014103038339	平成28年5月30日	令和8年4月16日		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
静岡県	第02201038339	平成28年4月21日	令和8年4月20日						○		○				○	○	○	○	○
東京都	第13 - 00 - 038339	令和4年9月9日	令和9年9月8日						○	○	○	○		○	○	○	○	○	

表3-3 一般廃棄物収集運搬業許可証

許可自治体	許可番号	許可年月日	有効期限
秦野市	許可一廃収第8号	令和4年3月24日	令和8年3月31日
伊勢原市	伊勢原市指令第12号	令和3年6月22日	令和7年7月3日
小田原市	許可番号40号	令和2年8月1日	令和8年7月31日
平塚市	平塚市指令第200号	令和3年5月15日	令和7年5月14日
厚木市	厚木市指令第344号	令和2年5月1日	令和8年4月30日

表3-4 一般廃棄物収集運搬業許可証

許可自治体	許可番号	許可年月日	有効期限
中井町	3中環第75号	令和4年3月22日	令和8年3月31日
松田町	松 第1598号	令和2年3月18日	令和8年3月31日
大井町	大井町指令第0304号	令和3年7月9日	令和7年7月17日
山北町	第0405-24号	令和4年3月22日	令和8年3月31日

表3-5 自動車解体業関係許可証、登録等

許可証、登録等	許可、登録番号	許可、登録年月日	有効期限
解体業許可証	20143011138	平成26年11月4日	令和11年11月3日
破砕業許可証	20144011138	平成27年3月1日	令和12年2月28日
引取業者登録	20141011138	平成26年11月4日	令和11年11月3日
フロン類回収業者登録	20142011138	平成26年11月4日	令和11年11月3日

9)施設の状況

9)-1 車両一覧表

車両一覧表は表4に示すとおりです。

表4 車両一覧表

NO	車 種	車両番号	最大積載量	車検有効期限
1	塵芥車	湘南830す114	2t以下	令和8年1月29日
2	塵芥車	湘南830え1133	2t以下	令和7年5月12日
3	塵芥車	湘南830い1166	2t以下	令和7年10月29日
4	塵芥車	湘南830う1188	2t以下	令和7年9月27日
5	塵芥車	湘南830あ1199	2t以下	令和7年5月15日
6	塵芥車	湘南830あ116	2t超	令和7年3月28日
7	脱着装置付コンテナ専用車	湘南100く1111	2t超	令和8年2月12日
8	脱着装置付コンテナ専用車	湘南130な113	2t超	令和7年6月28日
9	脱着装置付コンテナ専用車	湘南130あ1122	2t超	令和7年6月11日
10	キャブオーバー	湘南130て110	2t超	令和7年10月17日
11	キャブオーバー	湘南100ち111	2t超	令和7年8月1日
12	キャブオーバー	湘南130て117	2t超	令和7年8月17日
13	キャブオーバー	湘南130せ118	2t超	令和7年7月16日
14	キャブオーバー	湘南100す5407	2t超	令和7年3月18日
15	キャブオーバー	湘南100せ1579	2t超	令和8年1月17日
16	キャブオーバー	湘南100せ858	2t超	令和8年3月5日
17	キャブオーバー	湘南100せ3748	2t超	令和7年6月12日
18	キャブオーバー	湘南130さ347	2t超	令和7年7月29日
19	キャブオーバー	湘南130な112	2t以下	令和7年8月20日
20	キャブオーバー	湘南480き3164	2t以下	令和8年9月29日
21	ダンプ	湘南430は119	2t以下	令和7年10月1日
22	普通乗用車	湘南336ひ1155		令和9年3月3日
23	普通乗用車	湘南335ね1155		令和8年3月15日
24	普通乗用車	湘南337と1155		令和8年8月19日
25	普通乗用車	湘南349ね115		令和8年3月30日
26	普通乗用車	湘南336め721		令和8年5月20日
27	普通乗用車	湘南339ち325		令和8年10月25日
28	普通乗用車	湘南331ぬ343		令和9年1月20日
29	軽貨物	湘南40う980		令和8年2月28日
30	軽自動車	湘南584て1205		令和7年3月26日
31	軽自動車	湘南583な1209		令和8年3月17日
32	軽自動車	湘南480ち103		令和8年5月1日
33	軽自動車	湘南480ち7890		令和7年10月12日

9)-2 処理設備等の種類

主な処理設備等の種類は表5に示すとおりです。

表5 処理設備の種類

処理設備	処理の対象	処理能力、処理方式
圧縮梱包機	廃プラスチック、ゴム屑、木屑、紙屑、金属屑	50t/8h
鉄スクラッププレス機	金属くず	300t/8h
ハードプレス機	廃自動車	350t/8h
重機ニフラ 5台	廃棄物、廃自動車等	0.25, 0.4, 0.4, 0.9, 1.2t

9)-3 積替え保管場所 保管面積及び最大保管量

保管面積・・・94.87㎡

最大保管量・・・150. 5㎡

9)-4 使用済み自動車保管場所

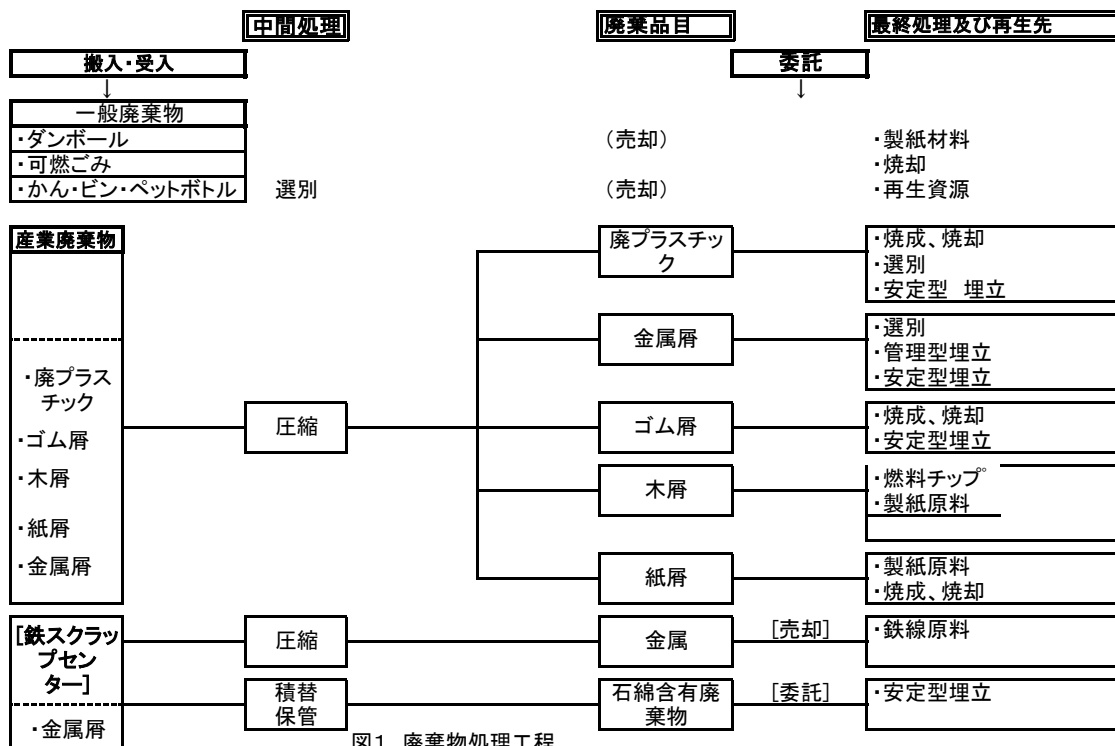
保管場所は表6に示すとおりです。

表6 自動車保管場所

	保管場所面積	最大保管量
使用済み自動車	1983㎡	55台

9)-5 廃棄物処理工程

「図1 廃棄物処理工程」に示すとおりです。



9)-6 自動車解体フロー

「図2 自動車解体フロー」に示すとおりです。

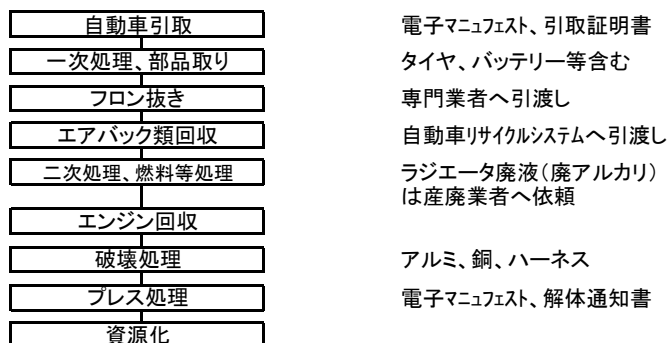


図2 自動車解体フロー

10)組織図

組織図は図3に示すとおりです。

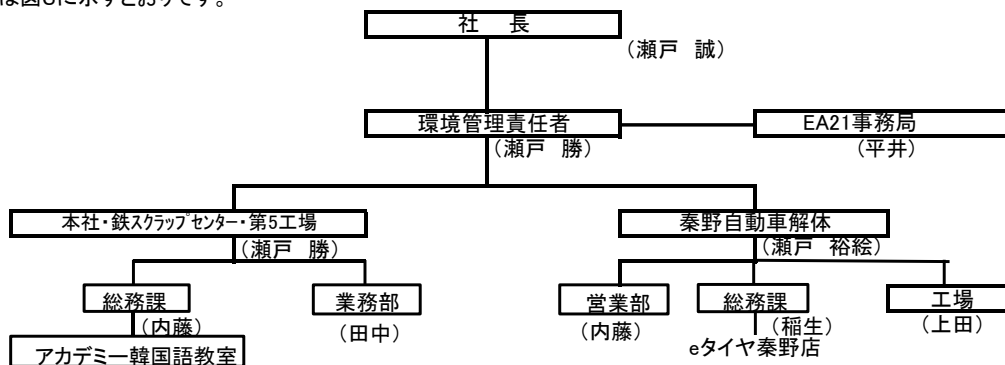


図3 組織図

環境経営システムに関する責任・権限は表7に示すとおりです。

表7 環境経営システムに関する責任・権限

環境経営システムに関する責任・権限	
社長	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境経営方針の制定 3. 環境経営システム実施及び管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施及び維持するための処置 2. 社長に対し、環境経営システムの実績報告 3. 環境経営システムの教育・訓練の計画・実施の責任者 4. 外部からの環境に関する苦情や要望の受付窓口
EA21事務局	1. 環境管理責任者の補佐、EA21推進事務局 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 3. 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 4. 環境経営の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境経営レポートの作成
各部責任者	1. 環境経営の計画・実施の責任者 2. 改善活動の推進
従業員の役割	1. 環境経営計画に基づいた環境活動及び業務改善活動の推進

2. 対象範囲

1) 認証・登録範囲

本社、鉄スクラップセンター、秦野自動車解体、第5工場、eタイヤ秦野店及びeアカデミー韓国語教室(所在地は1. 2)項に記載)

2) 認証・登録対象活動

産業廃棄物収集運搬業・中間処理(圧縮)業、一般廃棄物収集運搬業、鉄スクラップ再生業、廃自動車の再活用・解体再生業、タイヤ販売、韓国語教室

3. 環境経営方針

基 本 理 念

当社は事業活動を営む上で、よりよい自然環境と限りある自然をより豊かに次の世代に残すために、全組織が環境保全に配慮した事業活動を推進します。

行 動 指 針

当社は、環境との調和を経営の最高課題の一つとして一人ひとりが環境へのやさしさを優先して行動します。

1. 廃棄物の収集運搬を初めとする各種サービスの提供、自動車解体等の事業活動において、廃棄物の削減・再利用・再資源化、省エネルギー及び節水等の推進並びに化学物質の適正管理により環境保全に寄与します。
2. 事業活動にかかわる環境保全に関連する法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守することはもとより、環境側面を常に意識して、継続的に汚染の予防に努めます。
3. 環境経営の目標及び施策を計画の中で明らかにし、全従業員がそれぞれの役割に応じて、創意をもって環境経営を推進します。
4. 代表者による取組状況の評価と全体的な見直しの実施により、経営状況を確認し、改善及び是正を行い、環境マネジメントシステムの維持、並びに継続的改善に努めます。
5. 従業員の環境保全に対する意識の向上に努めるとともに、従業員一人ひとりが良き企業市民として行動します。
6. 環境経営方針は、すべての従業員に周知します。

2010年 7月 1日	制定
2011年12月 1日	改訂
2019年 1月10日	改訂
2019年 3月 1日	改訂

株式会社 セクメット
代表取締役
瀬戸 誠

4. 環境経営目標

環境経営目標は表8に示すとおりです。

表8 環境経営目標

2024年度(2023.12～2024.11)

項目	単位	基準 2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1.二酸化炭素排出量の削減	総排出量	kg-CO ₂	581,263.9	578,357.8	575,451.5	572,545.1	569,638.6
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
	売上当CO2	kg-CO ₂ /百万	687.1				
	削減率(原)	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
1-1-1 電力 注1) A 注2)	使用量	kWh	98,719.0	98,225.4	97,731.8	97,238.2	96,744.6
	CO2排出量	kg-CO ₂	45,608.2	45,380.1	45,152.1	44,924.1	44,696.0
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
1-1-2 電力 B 注3)	使用量	kWh	65,766.0	65,437.2	65,108.3	64,779.5	64,450.7
	CO2排出量	kg-CO ₂	30,383.9	30,232.0	30,080.1	29,928.1	29,776.2
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
1-1-3 電力 C 注4)	使用量	kWh	9,978.0	9,928.1	9,878.2	9,828.3	9,631.8
	CO2排出量	kg-CO ₂	4,609.8	4,586.8	4,563.7	4,540.7	4,449.9
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
1-1-4 電力 A+B+C	使用量	kWh	174,463.0	173,590.7	172,718.4	171,846.1	170,827.1
	CO2排出量	kg-CO ₂	80,601.9	80,198.9	79,795.9	79,392.9	78,922.1
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
1-2 軽油 A+B	使用量	ℓ	156,434.0	155,651.8	154,869.7	154,087.5	153,305.3
	CO2排出量	kg-CO ₂	403,599.7	401,581.7	399,563.7	397,545.7	395,527.7
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
1-3 ガソリン A+B+C	使用量	ℓ	8,405.7	8,363.7	8,321.6	8,279.6	8,114.0
	CO2排出量	kg-CO ₂	19,501.2	19,403.7	19,306.2	19,208.7	18,824.5
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
1-4 LNG A+B	使用量	kg	28,075.3	27,934.9	27,794.5	27,654.2	27,513.8
	CO2排出量	kg-CO ₂	75,803.3	75,424.3	75,045.3	74,666.3	74,287.2
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
1-5 灯油 A	使用量	ℓ	706.0	702.5	698.9	695.4	691.9
	CO2排出量	kg-CO ₂	1,757.9	1,749.2	1,740.4	1,731.6	1,722.8
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
2.受託廃棄物の資源化 注5)	リサイクル率	%	32.5	32.5	32.5	32.5	32.5
	リサイクル量	t	1,328.8				
	排出量	t	4,086.6				
	排出量	t	4,086.6				
3-1.水使用 量A+C	使用量	m ³	990.0	985.1	980.1	975.2	970.2
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
3-2.水使用 量B	使用量	m ³	316.0	314.4	312.8	311.3	309.7
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
3-3.水使用 量 A+C+B	使用量	m ³	1,306.0	1,299.5	1,292.9	1,286.4	1,279.9
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
	削減率	%	基準	0.5	1.0	1.5	2.0
4.化学物質の 管理 注6)	回収・保管 管理		適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
5.使用済自動車 解体処理	解体処理 注7)		適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理

注1) 電力排出係数: 本社・鉄スク・第5工場・自解体: 日本テクノ(0.484kg-CO₂/KwH)、e
タイヤ: AU(0.404kg-CO₂/KwH)、eアカデミー: 東京電力(0.376kg-CO₂/KwH)

注2) A: 本社・鉄スクラップセンター・第5工場(廃棄物処理作業を2019年9月本社から移転)

注3) B: 秦野自動車解体

注4) C: eタイヤ秦野店・eアカデミー韓国語教室

注5) 受託産業廃棄物資源化推進

注6) 化学物質: フロンガスの回収、引渡し等(自動車解体)

注7) 解体処理: フロンガス、ラジエーター液、廃油など

注8) 自社の廃棄物として紙ごみ類等がありますが微量なので、目標には掲げていません。

注9) 環境経営中期目標: 2020年度基準の全項目2026度3%削減、2027年度は3.5%削減とする。

5. 環境経営計画、環境経営目標の実績、取組結果とその評価及び次年度の取組内容

5.1 運用結果と評価

運用結果と評価は表9に示すとおりです。

表9 運用結果と評価

取組期間：2024年度（2023年12月～2024年11月）
評価 ○：目標達成、×：目標未達 （削減率：-は増加）

項 目		単位	基準 2020年度	2024年度 目標	2024年度 実 績	評価	次年度の取り組み内油
1.二酸化炭 素排出量の 削減	総排出量	kg-CO ₂	581,263.9	569,638.6	457,198		施策は継続実施
	削減率	%	基準	2.0	21	○	
	売上当CO2	kg-CO2/百万	687.1		530.3		
	削減率(原)	%	基準	2.0	22.8	○	
1-1-1 電力 注1) A 注2)	使用量	kWh	98,719.0	96,744.6	99,396		事務所の昼休憩消灯 空調機の温度管理 設備等の適正運転 電気の見える化継続実施
	CO2排出量	kg-CO2	45,608.2	44,696.0	48,107.7		
	削減率	%	基準	2.0	-1	×	
1-1-2 電力 B 注3)	使用量	kWh	65,766.0	64,450.7	43,892		
	CO2排出量	kg-CO2	30,383.9	29,776.2	21,244.0		
	削減率	%	基準	2.0	33	○	
1-1-3 電力 C 注4)	使用量	kWh	9,978.0	9,631.8	5,565		施策は継続実施
	CO2排出量	kg-CO2	4,610	4,449.9	2,196.7		
	削減率	%	基準	2.0	44	○	
1-1-4 電力 A+B+C	使用量	kWh	174,463.0	170,827.1	148,853		施策は継続実施
	CO2排出量	kg-CO2	80,601.9	78,922.1	71,548.4		
	削減率	%	基準	2.0	15	○	
1-2 軽油 A+B	使用量	ℓ	156,434.0	153,305.3	112,502		重機類の適正運転 車両類エコドライブ 計画的運行管理継続実施 さらなるエコドライブの実施
	CO2排出量	kg-CO2	403,599.7	395,527.7	290,256		
	削減率	%	基準	2.0	28	○	
1-3 ガソリン A+B+C	使用量	ℓ	8,405.7	8,114.0	12,348		
	CO2排出量	kg-CO2	19,501.2	18,824.5	28,648		
	削減率	%	基準	2.0	-47	×	
1-4 LNG A+B	使用量	kg	28,075.3	27,513.8	21,748		施策は継続実施
	CO2排出量	kg-CO2	75,803.3	74,287.2	65,245		
	削減率	%	基準	2.0	23	○	
1-5 灯油 A	使用量	ℓ	706.0	691.9	603		施策は継続実施
	CO2排出量	kg-CO2	1,757.9	1,722.8	1,501.5		
	削減率	%	基準	2.0	15	○	
2.受託産業廃 棄物の資源 化 注5)	リサイクル率	%	32.5	32.5	32.2	×	施策は継続実施
	リサイクル量	t	1,328.8		1,097.0		
	排出量	t	4,086.6		3,412.0		
3-1.水使用 量A+C	使用量	m ³	990.0	970.2	663.0		節水表示
	削減率	%	基準	2.0	33	○	
3-2.水使用 量B	使用量	m ³	316.0	309.7	234.0		
	削減率	%	基準	2.0	26	○	
3-3.水使用 量 A+C+B	使用量	m ³	1,306.0	1,279.9	897.00		
	削減率	%	基準	2.0	31	○	
4.化学物質の 管理 注6)	回収・保管 管理		適正管理	適正管理	適正管理	○	フロンの適正処理
5.使用済自動 車解体処理 注7)	解体処理		適正管理	適正管理	適正管理	○	営業活動の推進

注1) 電力排出係数：本社・鉄スク・第5工場・自解体：日本テクノ(0.484kg-CO₂/KwH)、e
タイヤ：AU(0.404kg-CO₂/KwH)、eアカデミー：東京電力(0.376kg-CO₂/KwH)

注2) A：本社・鉄スクラップセンター・第5工場（廃棄物処理作業を2019年9月本社から移転）

注3) B：秦野自動車解体

注4) C：eタイヤ秦野店・eアカデミー韓国語教室

注5) 受託産業廃棄物資源化推進

注6) 化学物質：フロンガスの回収、引渡し等（自動車解体）

注7) 解体処理：フロンガス、ラジエーター液、廃油など

取組結果 (基準2020年度)

- ① 二酸化炭素排出量は目標削減率2.0%に対して削減率21%で目標を達成。
(売上高当たりでは 22.8 %である。)
- ② 電力使用量は、目標削減率2.0%に対して削減率 15%で目標を達成。
- ③ ガソリン使用量は、目標削減率2.0%に対して削減率-47%で目標未達。
- ④ 水使用量は、目標削減率2.0%に対して削減率 31%で目標を達成。
- ⑤ 化学物資(フロンガス)の回収、引渡し、電子マニフェストの報告等について遵守しました。

5.2 処理実績(受託した産業廃棄物の処理量)

受託した産業廃棄物の処理量は表10に示すとおりです。

表10 受託した産業廃棄物の処理量 2024年度(2023.12~2024.11)
(単位t)

廃棄物の種類		処分方法	2022年度	2023年度	2024年度
収集運搬	混廃・廃プラスチック類		1639.6	1198.7	2315.1
	木くず		762.9	209.6	493.1
	収集運搬合計		2402.5	1408.3	2808.2
中間処理	混廃・廃プラスチック類	圧縮	2624.9	2137.9	2315.1
	木くず		849.4	317.2	493.1
	金属くず	圧縮・選別	749.7	890.7	604.0
	中間処理合計		4,224.0	3,345.8	3,354.9
再資源化	木くず	再生利用	849.4	317.2	493.1
	金属くず	再生利用	749.7	890.7	604.0
		(小計)	1,599.1	1,208.6	1,097.1
最終処分	再資源化合計		1,599.1	1,208.6	1,097.1
	混廃・廃プラスチック類	圧縮	2,624.9	1,408.3	2,315.1
	(委託:再生含む)				
	(内埋立処分)		787.5	422.5	694.5
最終処分合計			2,624.9	1,408.3	2,315.1
中間処理後合計			4,224.0	3,345.8	3,412.0

5.3 主要な環境経営計画の内容

2024年度(2023年12月から2024年11月)の環境経営計画・実績状況は表11に示すとおりです。

表11 環境経営計画・実施状況 (2024年度)

○:目標達成、×:未達
計画--> 実績--> 基準年度:2020年度
削減率:-は増加

目 標	主な施策	単位	23/12~24/5	24/6~11
1.二酸化炭素排出量の削減 2.0%削減	電力のムダ排除 化石燃料使用効率化	kg-CO2 削減率% 累計評価	16.6% ○	21.0% ○
1)電力使用量 2.0%削減	事務所の昼休憩消灯 空調機の温度管理 設備等の適正運転	kWh 削減率% 累計評価	6.4% ○	15.0% ○
2)軽油使用量 2.0%削減	重機類の適正運転 車両類エコドライブ 計画的運行管理	ℓ 削減率% 累計評価	34.2% ○	28.0% ○
3)ガソリン使用量 2.0%削減	重機類の適正運転 車両類エコドライブ 計画的運行管理	ℓ 削減率% 累計評価	-47.5% ×	-47.0% ×
4)LNG使用量 2.0%削減	重機類の適正運転 車両類エコドライブ 計画的運行管理	kg 削減率% 累計評価	23.0% ○	23.0% ○
5)灯油使用量 2.0%削減	有効利用	ℓ 削減率% 累計評価	6.9% ○	15.0% ○
2.受託廃棄物の 資源化(リサイクル率) リサイクル率 32.5%	選別作業の効率アップ 分別搬入推進	受託(t) リサイクル(t) リサイクル(%) 累計評価	33% ○	32% ○
3.水使用量削減 2.0%削減	節水表示	m3 削減率% 累計評価	42.0% ○	31.0% ○
4.化学物質の管理 回収・保管管理	適正管理 (担当 上田)	評価	○	○
5.使用済自動車解体処理 解体処理	適正管理 (担当 上田)	評価	○	○

当社の主要な環境保全に向けた具体的な取組内容は次のとおりです。

1)二酸化炭素排出量の削減(温室効果ガス排出量削減)

- ①事務所等昼休みの照明消灯(減灯)
- ②圧縮機等の効率的な運転
- ③未使用品のコンセントを抜く
- ④エコドライブの推進

2)受託廃棄物の資源化

- ①産業廃棄物の分別の徹底
- ②分別搬入の指導
- ③朝礼時における注意喚起

3)水資源投入量の削減(節水)

- ①節水の表示
- ②洗車の節水

4)化学物質(フロン)の適正管理

- ①適正な回収
- ②委託業者に適正な引渡し

5. 4 次年度の取組内容

2025年度(2024年12月から2025年11月)の環境経営計画・実施状況は表12に示すとおりです。

表12 環境活動計画・実施状況

基準年度:2020年度

計画----->

年度目標	主な施策	2024年12月～2025年11月			
1.二酸化炭素排出量の削減 2.0%削減	電力のムダ排除 化石燃料使用効率化				->
1)電力使用量 2.5%削減	事務所の昼休憩消灯 空調機の温度管理 設備等の適正運転 照明器具エコタイプ導入検討				->
2)軽油使用量 2.5%削減	重機類の適正運転 車両類エコドライブ徹底 計画的運行管理				->
3)ガソリン使用量 2.5%削減	車両類エコドライブ徹底 計画的運行管理				->
4)LNG使用量 2.5%削減	車両類エコドライブ徹底 計画的運行管理				->
5)灯油使用量 2.5%削減	有効利用				->
2.受託廃棄物の資源化(リサイクル率) リサイクル率 32.5%	選別作業の効率アップ 分別搬入推進				->
3.水使用量削減 2.5%削減	節水表示 教育徹底				->
4.化学物質の管理 回収・保管管理	適正管理 (担当 上田)				->
5.使用済自動車解体処理 解体処理	適正管理 (担当 上田)				->

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

6. 1 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される主な環境関連法規等

- ・廃棄物処理及び清掃に関する法律
- ・家電リサイクル法
- ・自動車リサイクル法
- ・自動車NOX・PM法
- ・消防法
- ・騒音規制法
- ・振動規制法
- ・フロン排出抑制法
- ・神奈川県生活環境の保全等に関する条例
- ・秦野市環境等関連条例

当社は、環境関連法規等の遵守状況をチェックしており、過去3年間、環境関連法規等への違反はありません。

6. 2 違反、訴訟等の有無

関係当局・近隣住民からの違反の指摘・苦情等は、過去3年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

7.1 全体評価

環境経営活動は、十分とはいえませんので取組の見える化をして推進していきます。

7.2 見直し結果

- 1) 環境経営方針の変更の必要性: なし
- 2) 環境経営目標の変更の必要性: なし
- 3) 環境経営計画及び環境経営システム等の変更の必要性: なし
- 4) 取組結果
 - ① 二酸化炭素排出量削減: 目標削減率2.0%に対して、削減率21%
売上高当たりでは 22.8%で目標を達成することができた。
* 節電、エコドライブ等を継続して推進し、CO2削減に取り組んでいく。
 - ② 受託産業廃棄物資源化のリサイクル率: 32.5%に対して32.2% で未達
* 更なる分別等の徹底により再資源化に努めていきたい。
 - ③ 水使用量の削減: 目標達成 削減目標2.0%に対して、削減率31%
* 継続して節水に努める。
- 5) 次年度(2025年度)の取組
 - ① 2024年度に準じCO2削減に努める。
 - ② 環境活動の見える化をはかり、施策を具体化して改善活動を推進します。